

みずほCustomer Desk Report 2019/09/06号 (As of 2019/09/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.44 AUD/USD
TKY 9:00AM	106.34	1.1034	117.34	1.2244	0.6797
SYD-NY High	107.23	1.1084	118.60	1.2353	0.6830
SYD-NY Low	106.33	1.1017	117.29	1.2211	0.6794
NY 5:00 PM	106.94	1.1035	118.04	1.2332	0.6815
NY DOW	26,728.15	372.68	日本2年債	-0.2900	1.00bp
NASDAQ	8,116.83	139.95	日本10年債	-0.2700	2.00bp
S&P	2,976.00	38.22	米国2年債	1.5331	9.82bp
日経平均	21,085.94	436.80	米国5年債	1.4334	11.28bp
TOPIX	1,534.46	27.65	米国10年債	1.5645	9.46bp
シカゴ日経先物	21,150	340	独10年債	-0.5965	8.10bp
ロンドンFT	7,271.17	▲ 40.09	英10年債	0.5965	10.65bp
DAX	12,126.78	101.74	豪10年債	0.9540	3.30bp
ハンセン指数	26,515.53	▲ 7.70	USDJPY 1M Vol	6.98	▲ 0.42%
上海総合	2,985.86	28.45	USDJPY 3M Vol	7.13	▲ 0.25%
NY金	1,525.50	▲ 34.90	USDJPY 6M Vol	7.13	▲ 0.23%
WTI	56.30	0.04	USDJPY 1M 25RR	-1.53	Yen Call Over
CRB指数	172.35	▲ 0.35	EURJPY 3M Vol	7.64	▲ 0.44%
ドルインデックス	98.38	▲ 0.07	EURJPY 6M Vol	7.66	▲ 0.23%

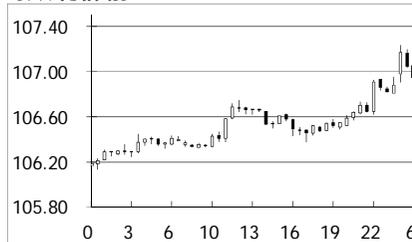
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月5日	10:30	豪 貿易収支	7月 A\$7268m	A\$7000m
	15:00	独 製造業受注(前月比)	7月 -2.7%	-1.4%
	21:15	米 ADP雇用統計	8月 195k	148k
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	217k
	23:00	米 製造業受注(前月比)	7月 1.4%	1.0%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	7月 2.0%	2.1%
	23:00	米 ISM非製造業指数	8月 56.4	54.0

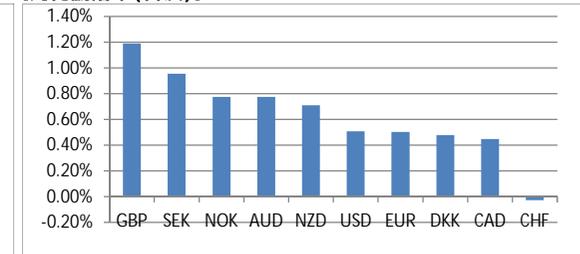
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月6日	15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 0.4%/-3.9%	-1.5%/-5.2%
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	2Q 0.2%/1.1%	0.2%/1.1%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	8月 160k	164k
	21:30	米 失業率	8月 3.7%	3.7%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	8月 0.3%/3.0%	0.3%/3.2%
9月7日	1:30	米 バウエルFRB議長講演		

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.40-107.20	1.0980-1.1080	117.30-118.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は上昇。米中両国が10月から閣僚級の通商協議をワシントンで開催するとの報道を受けて、市場のリスクセンチメントが改善、ドル円は106.70円台まで上昇。その後、米8月ADP雇用統計・米8月ISM非製造業指数が市場予想を大幅に上回ったことから、ドル円は一時107.23円まで上昇した。本日のドル円は上値の重い推移を予想。香港デモ・英国Brexit・米中通商問題というリスクへの懸念が一時的に後退し、かつ米経済指標の好結果を受けてもドル円の107円台の滞空時間は短かった。107円台には売り意欲も強く、4日、5日と続いたドル円の上伸が継続し、上値を更新するには新たな材料が必要か、本日発表予定の米8月雇用統計の結果を注視したい。

東京	東京時間のドル円は106.34レベルでオープン。香港情勢の改善や、英下院での「合意なき離脱」を阻止する離脱延期法案の可決、10月からの米中通商協議再開の合意とのヘッドラインなどの好材料をうけ日経平均株価が堅調推移。一時500円を超す上昇幅となりドル買いが優勢、高値106.75をつける。その後は日経平均株価の上昇も一服するとドル円も動意に乏しく推移し、106.50レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.50レベルでオープン。午後に米8月ADP民間雇用者数及び米8月失業保険申請件数、米8月ISM非製造業総合指数の公表を控え小幅なレンジで推移、106.65レベルでNYに渡った。ポンドは1.2215レベルでオープン。英議会で下院が可決した離脱延期法案について、ジョンソン政権が上院での同法案阻止を断念し合意なき離脱への懸念が後退、ポンドは1.2353まで買われる。同法案は9日の女王同意を経て成立することになり、英野党労働党は総選挙実施については法案成立まで実施しないとしていることから先行きに依然として不透明感があり上値は押えられ、1.2336レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルガ- 00531 444 179 川田)
ニューヨーク	ドル円は106.65レベルでNYオープン。朝方は米8月ADP雇用統計が前回分が下方修正されたものの、予想を大きく上回ったことから106.93まで戻す。その後戻り売りに106.81まで下押しするが、続いて発表の米8月ISM非製造業指数が事業活動指数、新規受注などが大幅に改善したことから予想を上回り、1ヶ月ぶりに107円ちょうどを上げ、107.23まで上伸する。しかしこのレベルでは売り意欲は強く、106.88まで反落する。午後は、明日の米8月雇用統計結果発表を控え、107円ちょうど付近での狭いレンジでの推移が続く、106.94レベルでクロスした。一方、海外市場でリスク志向からドル売り、円売りが強まり、ユーロ円が上昇する動きもあり、ユーロは下値をサボられ、1.1066レベルでNYオープン。朝方は米8月ADP雇用統計結果を受けたドル買い戻しに1.1053まで反落するが、ユーロ円の買いや、ドルが再び売られる展開に1.1084まで戻す。しかし米8月ISM非製造業景況指数結果を受けたドル買い戻しに1.1036まで反落した。午後は狭いレンジでの推移が続くが、一時1.1032まで下落し、1.1035レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:小笠原・森谷